

地域と手を取りつくる安心なまち



犯罪や非行を未然に防止するため、地域に根差した活動を続け、県更生保護女性連盟副会長や事務局長、養老地区更生保護女性会会長を兼任するなど、顕著な功績が認められ、藍綬褒章を受章した田中とも子さん(大跡)が6月2日(火)に川地憲元町長を訪問し、その報告をしました。

田中さんは「地域の皆さまからお力添えをいただきながら、これまで活動を続けてきました。犯罪や非行をなくしていくためには、地域と手を取り合い、住民の皆さまと一体となって抑止していくことが大切です。これからも安心な地域づくりのため、更生保護女性会の認知度を高めるとともに、人材確保にも努め、活動の輪をさらに広げていきたいです」と話しました。

移りゆくこと、変わらないもの



県内の商業教育に長年携わり、産業教育全体の発展に尽くすなど、顕著な功績が認められ、瑞宝小綬章を受章した松本勇次さん(鷺巣)が6月1日(月)に川地憲元町長を訪問し、その報告をしました。

松本さんは「私が教員になったばかりの頃と晩年の頃とでは、教育現場の状況や考え方に大きな変化があり、時代に合わせた生徒や保護者との関わり方について常に考えていました。教育のあり方が変わっても、生徒たちには人と人との繋がりの大切さや、人との付き合いにおいて自分が大切にしてきたことを伝えてきました。今後も地域に恩返しするために、自分のできることをしていきたいです」と教員生活を振り返りました。

美しい景色と環境を守る



いびNPO法人連絡協議会などが主催する揖斐川流域クリーン大作戦が5月30日(土)に行われました。この取り組みは、揖斐川流域などを19ブロックに分け、各市町の会場において一斉清掃を行うものです。養老町では、毎年、町生活と環境を考える会が中心となり、牧田川左岸(多芸橋から養老SA入口まで)での清掃活動を行っています。

今年は50人が参加し、晴天の下、美しい養老山地を見ながら1時間ほど清掃活動を行いました。牧田川堤防に捨てられたペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻、プラスチック製容器など、燃やせるごみ20kg、燃やせないごみ20kgの合計40kgが回収されました。自分たちでまちを美しく、守っていく有意義な機会となりました。

真剣勝負で交流深める



5月31日(日)に町総合体育館において、(公財)町スポーツ連盟主催の養老町スポーツ大会総合開会式が開催されました。本町では、昭和62年に「スポーツの町の宣言」を行い、1町民1スポーツのまち・養老を基本理念とし、スポーツをとおして地域との繋がりを深め、心身ともに健康でいられるよう、関係団体と協力して誰もがスポーツに親しめるまちづくりを推進しています。

式では、町グラウンドゴルフ協会の小寺礼二郎選手が「大会を通じて選手同士の交流を深めるとともに、優勝を目指して勝ちにこだわり、真剣にプレーすることを誓います」と声高らかに宣誓しました。